

柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉審査資料	
資料番号	KK67-地0114-1
提出年月日	平成29年11月22日

柏崎刈羽原子力発電所 6号炉及び7号炉

地質に関するコメント回答

平成29年11月

東京電力ホールディングス株式会社

■ 金（2006）に対する見解（別紙参照）

- ・論文は、段丘面の縦断面形と背斜山稜の縦断面形の相似関係から、活断層の長さを認定するものであって、後期更新世以降の地層や段丘面を変位・変形させているかどうかに関するデータが示されていない。
- ・金論文の図 3 b. の各段丘面の分布を見ても、中央部から南北に傾き下がるような形は見て取れず、これが小木ノ城背斜山稜の縦断面形と相似しているとは認められない。
- ・データのエビデンスが示されていない。

■ 気比ノ宮断層の南方延長部に関する評価

- ・中央丘陵における I_z 層準の褶曲の活動性が異なる。
- ・中央油帯背斜南部延長部における段丘面に変位・変形が認められない。

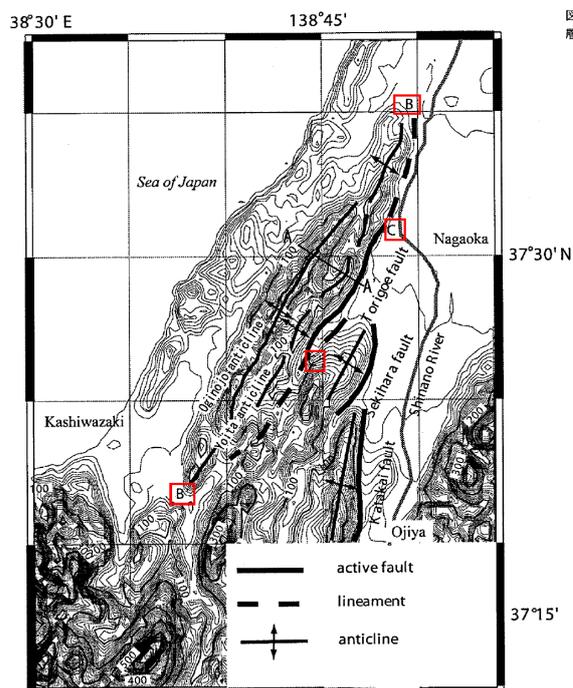
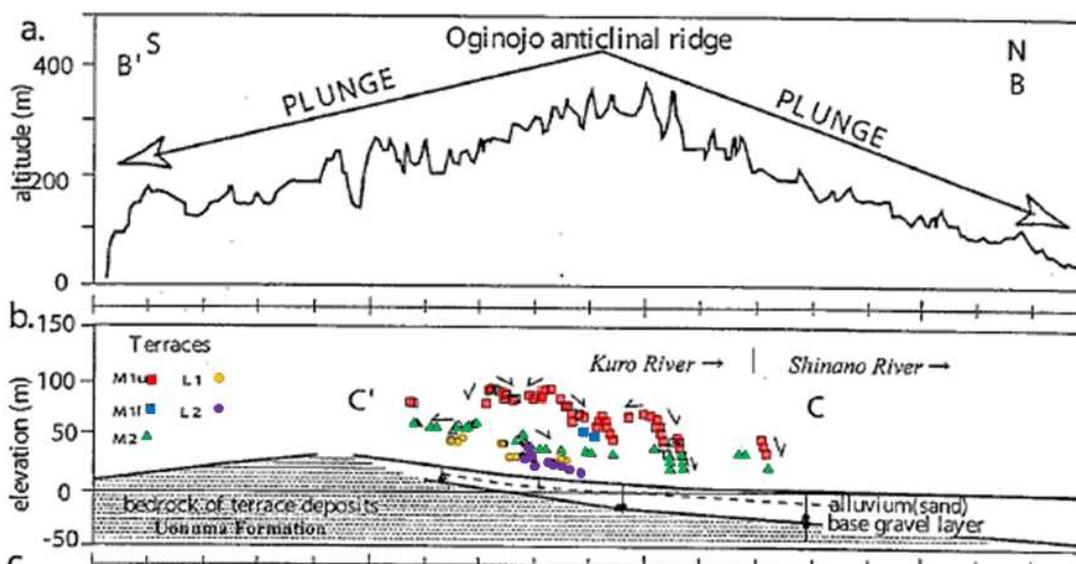


図1 長岡平野西縁活断層帯、烏越断層の位置。



※金論文(2006)図1, 図3 a. b. に加筆

【当社の見解】

- ・ 金論文は、段丘面の縦断面形と背斜山稜の縦断面形の相似関係から、活断層の長さを認定するものであって、後期更新世以降の地層や段丘面を変位・変形させているかどうかに関するデータが示されていない。
- ・ さらに、金論文の図3 b. の各段丘面の分布を見ても、中央部から南北に傾き下がるような形は見取れず、これが小木ノ城背斜山稜の縦断面形と相似しているとは認められない。図3 b. によって、縦断面形が相似していると評価するのは無理がある。
- ・ また、活断層長さを推定するに当たり重要な段丘構造のエビデンス（平面位置）が示されておらず検証が難しい。